平成19年度 野洲市予算 市長コメント

恵まれた環境を生かしながら、人の営みが調和し、世代を超えて誰もがほほえみに満ち、ときめき、躍動する「ほほえみ・ときめき」のまちをめざして策定した第１次野洲市総合計画。この計画をもとにまちづくりを進めます。

安心・安全

市民の命を守るため、昨年度に引き続きＡＥＤ（自動体外式除細動器）を、市民活動の拠点である各コミュニティセンターにも設置します。

子どもを狙った凶悪事件が多発する中、不審者情報あるいは災害情報を携帯電話のメールを利用してリアルタイムに提供できるシステムを整備し市民の安心・安全を確保します。

福祉

子育てに不安をもつ親が気軽に悩みを相談でき、子育ての情報を得られ、交流の場となる子育て支援センターを新たに野洲健康福祉センター内に設置します。

また、子育て支援策として民生・児童委員による家庭訪問事業を開始します。

人権

市民一人ひとりの参画によるあらゆる差別のない野洲市の実現をめざして、啓発に積極的に取り組みます。

環境

野洲市環境基本計画の実践に向け、市民参加の実践組織を設置し、市民と行政のパートナーシップによる実践活動を展開します。

協働

市民の自主的な活動による豊かな市民社会の発展のために「市民活動サポートセンター」を設置して、団体や個人の活動を支援します。

農業

農地や農業用水等の社会資本について、農業者だけでなく地域の多様な参画を得ながら適切な保全を図るため、農地・水・環境保全向上対策に取り組みます。

商工振興

地域の商工業者支援を目的に、商工業振興事業補助制度を継続し、商工会の育成と市内商工業の振興を図っていきます。

観光振興面では、ふるさと富士を有する市町村が、それぞれのふるさと富士を通してネットワーク化し、地域の活性化を図るため、「第１回全国ふるさと富士サミット」を開催します。

都市基盤

市民の安全で快適な生活環境を維持向上するため、人にやさしい生活道路の整備や河川維持補修、農道の整備を行います。

野洲駅南口駅前の活性化を図るため土地利用計画に基づき、まちづくり交付金事業採択に向けて計画を策定します。

教育

従来の障害児教育に加え、ＬＤ（学習障害児）、ＡＤＨＤ（注意欠陥・多動性障害児）、高機能自閉症の軽度発達障害も包括した障害児教育を特別支援教育として実施します。

また、放課後における子どもたちの安全で健やかにすごせる居場所づくりとして放課後子ども教室を設置します。